

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak
LICENSED PRODUCT

3/Color Black

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

A

1

2

3

4

5

6

M

8

9

10

11

12

13

14

15

B

17

18

19

熱
海
紀
行

附
録

特別

几
毒

3523

2

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

20

1

2



門凡 4
號 3523
卷 2

熱海紀行附録



小田原より行程記

小田原石橋迄 一里

小田原所よりつぎは、熱海(河原)に
ありその所より早川と早川と
名不るり

安永門院四糸

昭和十六年二月六日
市島謙吉 贈

あつらひ此中内を致く見後せき
塩木より新く川乃水

坂上郎女

ふつとせ河おしよや早川志
せくとせとふとやふとん
早川水よ箱根湖水よりあふ
石垣山乃麓を流連直に海中

入る湖と水よの境より幸を接あり
水増せむ往來舟の難はる川より
石垣山を天正年中小田原を攻め
時秀共公此の城を捕へりあり
早川乃かとり塩屋く海濱也砂濱
よて大破りたり乃とよ川村
民亦救めたりある本乃

所有是より少なるは石移山此
ゆりたるなり

石橋と根府川と 一里

はるよふくことよふとけむくお
あ有る方ハ懐乃まるとけ社のくわ
大木のあくとこのふをたを海辺を
巖石くわくふくわく浪坂難なるなり

むくくは浪辺を付あやむく年
大地震よる破きくくくは浪辺
みま屏風志柳子るくくく奇観
骨とくく移山石乃まくくくまは
根石とよ有る移山のゆりく小
高倉院乃御宇保頼朝夏川北條
乃蛭々小竹よ備志く北條四郎平此

少政を初とて 是れ子と合治家此法
士修し治家四年八月廿五日
陳を強めお模出任人太庭景親
其のふ、平家方人致千騎押せ
いゝ戦ふけ地居狭ふし一
岸より遠流眺を子州一方を
山嶺く石叢嶺々そり花々も

了くく次馬蹄乃乃くくあ
秋物表僅ふ三百余騎命をかりん
秋くくく小冬初ふ大又敵とく
今上住東治命祐親入及三百騎と川
幸しし多陳乃治を龍初ふくく
入依家回録一義忠生年二十又長高等
文三宇安生年六十七之從立所了討死

しきる所とて今も古墳のまじり
昔もむととも忠義のまは高天よかや
高天朝君うら肩あひ七騎とあて
高天のちね乃松山乃中ふくもゆと
あふととこふ外村とるそりよとや
沖乃小姑うむ根府川まいつら同山坂
ふみ一室を海岸に傳ひ乃たをさる

園より小田原城より勅表名根府川
板橋六万程根府川石切と下是あり

根府川の土肥と二里

根府川民家とくは江乃浦とよ
下より赤坂へ行くに乃とよ
海よりつきのあまいさるにあを
きりといふ石佛銀をそと赤坂

山難西より其石路を渡りたれ
東谷に在りり粒粒を去る所本
子刈りて難をのりて其石を
といつり里民野の定所と云ふ
る路ハ濤として繁業乃地石を
け下より音川へ流り所運を削
せありと云傳つり平山と云ふ

小幕杖乃竹今より有といり
其石路乃石より其の石を
こりて其石をいりて其石を
丹より其石をいりて其石を
海より其石をいりて其石を
根有川土肥乃石より切りて
石乃其石をいりて其石を

吉野郡岩村（以石碑）吉野
十八所岩村（八所）川堀を
て土肥（以）民家多く（後）
多（以）土肥乃吉野（以）
（以）（以）（以）（以）（以）
乃（以）（以）（以）（以）
入口古径乃地籍（以）

土肥の走湯 二里

小田原より土肥（以）
内より走湯より熱湯（以）
郡の内（以）右乃方土肥乃
（以）十四所（以）（以）
堀（以）（以）（以）（以）
功（以）（以）（以）（以）

け山より入るゆとくありしよ土肥川有
とわさして門川村ありけし中
城形多し以右ありけしより各以程
七八町あり坂田村

萬年山城願寺 曹洞宗

土肥実平公掘石土肥一族の志

熱海公三里 土肥吉濱公十八町

實平法名

建久元戊午
實平溪大真大居士
三月廿五日行年六十六才病死

遠平法名

一 建保五年
笑大喜大禪門
九月廿三日行年六十才病死

實平像

襦衣馬帽子長一尺七八寸

遠平像

僧形

実平墓五輪墓石四尺六寸長中

小頭骨を細り骨にしろきて骨子の中

乃形有吾神公帝ふかたり熱海大

骨厚のりしとちり記しあやて後人
是とんるしつり定年遠年
善とふは名悪るき月分し梵字
斗中

境目拓子乃甚大本有

容殿乃分境を多平境内より堀
いこきりしつりふとこん事り

種乃福幸号ホキ月分し又磁器此
形茶室を堀りしつりし地
民家ノ有しつりけ西古戦場也
ふり今も大なる矣乃根也
或一貴家所誦也
いひのりしつりし地
ふも実平乃甚しりも

發句

くねくね好月をみ乃ちらと那
土能くぐや表下才六天森楠木十
二弱才とらり武た名ととらひ更
志やうきんしり三町程と

門川村里く好是山のこより流
きあ川を橋りりせり門川と

いむりい住是程程 藝業乃時走湯山
乃外門もろち子かいふとそ門川を
夏取相取れ境よりけ川も水おまを
川為りよそ難所はは是より所
山跡をり住是山やうくより渡
難より所あしりそとお松山を
いよりいそやう一里半よりあ山

上らるるわ久のわの久のわのわ
好糸ありとのわのわのわのわのわ
谷川わのわのわのわのわのわのわ
あり

万葉集

いふわのわのわのわのわのわのわ
伊豆乃の山此のわのわのわのわ

走湯の熱海志

十八町

伊豆控現乃社有とりの石坂右乃方及此
わのわのわのわのわのわのわのわのわ

石坂とのわのわのわのわのわのわのわ
頼的卿御運用のわのわのわのわのわのわ
祥乃此のわのわのわのわのわのわのわ
わのわのわのわのわのわのわのわのわ

一基子致ゆりゆり

走湯大權現 天忍徳耳尊 照玉明神

遍照權現 持幡千々姫御相殿 早鏡明神

社領三百石

本社乃後太の角柳木所林木を

いしへを記の本ニヤ有し今

一本あり

雷電權現 瓊瓊杵尊

前乃森兒呼入森

右大臣顯光

室小末くつこやまゆり

ゆりゆり井乃色まはい

元浦

思ひやう井乃色乃色

より好ら人乃神々ぬきり
併是所山

徳倉右大臣

子甲振併是乃山の玉つ

つる万代をををか

本宮 本宮嶺と云ふ中不記在名

鐘樓堂 仁徳天皇御宇鐘銘有之

浴乃湯くさる右方よ之他是坊の下こ

与居の前う浴湯と所石壇四百八級

下宮 東 中堂 権現
西 講堂 権現

毎年二月中乃めけ下の祭れ下の又

と乃又子神りあし習るハ又ととれ

社よゆはり際玉乃老る男女

群 とあり

走湯

隱倉右大臣

くし里湯此種とハむいひし

何や起きし此湯ハこり

今之れと湯湯と云

大湯 女湯 坂口湯 彦安二

古義真言

別當盤若院

表外十二坊

伊豆権現寺乃今一寺居之は下り

祇園寺伊豆権現代治無所湯寺

湯寺修りしとて修りし村之

嶽寺乃乃りし石工法乃権現

乃乃湯乃乃石碑有知物今此湯

乃乃百八坂田是権現所供甲乙

伊豆松山乃押...
あり一里塚...
右此廻り...
向坂一本松...
左乃方...
行程都合六里十八町

行程都合六里十八町

伊豆國賀茂郡見庄熱海

温泉涌出之始

天平勝寶元己丑之年

至元文四己未之年凡九百

九十年

温泉乃...
透地



一 寺水立及浦のちを去る度くも
上刻下計乃 運送おく宛有る
亦及浦立板ハ遠い今ノ在乃が
長浦とて大薬十八のちより廿四の
よき度宛終ハ浦とて水乃より浦
市中又ハ
水中浦等 物より為りその浦より浦
おのちより終ハ一ハ及浦ハ浦ハ

右長浦乃後ハ一ハ常より度く
蓋、夜ノ水ハ九度ハ浦ハ了り三宮
とて平日より水ハ夜ハ浦ハ了り
源家二十七軒 内中陸之水

温泉

酒井を改守忠興

職まゝに記付ありし熱湯あり
してゆふ代乃ゆゑハ

東宮の神

誠田從四位侍候

けりし中を記しし宮より来りし其
神は形く久母りしは強よあん

和国奥禅寺を中より忘りしは
一はいしとより其の事記し強よあん
高原高虎奇をことより

水口村あり

水口村あり

七曲寺

水口村あり

誓王寺

水口村あり

糞鷗軒

水口村あり

名をりし中を記しし宮より来りし其

和川 和国川 けりし中を記しし宮より来りし其

名をりし中を記しし宮より来りし其

新漢地川あぢと記綱細と採
横磯蛇丸石の埤下

和回強蛇丸磯矣的ふく

系川とよき官川乃下流を云なり

ふさひの里松とむくふと云ふ

とくくを云ふ

一碧樓八景詩

海天曉日

紅雲殘夜生 海岸曉嵐晴

縹渺碧波上 金輪萬里明

前村湯氣

孤村久尚暖 湯沸石窠間

天地爐中氣 氤氳蒸四山

初鷺遠帆

浪搖初木嶋 神女翠眉披

恍影如飛鳥 逐雲片片移

錦浦秋月

天接銀河水 月清錦浦濤

秋光無限好 漁艇亦停篙

波上白鷗

清波洗釣磯 風靜白鷗飛
漁翁常伴睡 旅客亦忘機

石溪水聲

清溪苔石滑 泉聲聽初奇

秋曉夢醒處 復涼晝靜時

西山暮色

欄外多佳氣 斜暉殘翠微

樵夫穿晚霽 曲徑下山歸

古社松風

小社古松外 煙霞籠翠陰

晚潮前浦遠 寂々谷風琴

右

延寶初元癸丑復月上浣

竹洞子作

熱海の日金山は五十町

未乃又々在まより右へいりて所標

右小女間、谷

地蔵を又間口金佛丈六を像

地蔵をより四人所行丸山へいりての

石より箱根道舎へいつりて石を道

より石より大園石より

丸山登覽方角

右より左に
富士山本立より見ゆ

甲辰菟山 足高山 兼根二子山

駒ヶ嶽 山中茶店 列樹松

玉澤山 三島町 沼津町

狩野川 千本松原 原

奈良 田子浦 浮石原

柏原乃池 富士川 白川 上之山 甲斐

身延山 須賀山 信濃山 九ノ井 末分 鳥居

富士川 白蒲原山 薩埵山 彦原

神所浦 三穂湯

湯原 成目 駿府 久保山

寺子 相良山 下ノノ 入ノ

丸々方 冬古岩村 蕪山 田中山

近江山 持世名山續 天城山

文母山 小室山 小室士川

奈崎 大島 初島

住東崎 細代熱海崎と見ゆ

神子崎と見ゆ 津崎

平子見ゆ 利宗

冬晴久和日有 大磯 三浦

三浦 安房 上総 江戸ありあり

前之方 若狭郡 田方郡 小條

鯉ヶ小島 江戸 駿河目子 大平戸

倉香坂山 惣ノ栗山 後木内浦乃海

尾崎ヶ崎 津那者山とあり

後之方 板根土肥谷 吉濱 門川

福浦 三ヶ島 望崎 大概八九ヶ島程あり

熱海の三嶋志

五里

四曲塔 割石 お見塚 一里頂

熱海沢 石原坂一里半の平 岩地蔵

寺宇一軒二十程 弦巻山

駒形江下を新形谷と云ふ馬

いづの時丹羽池山を池月のと云

若くは合像といふ駒形と云

弦巻山ありて二里ありありありあり

字あり 旧館

駒形 弦巻山を法華四年石橋敵討

武士降参此許儀をせしと云駒

形をよと云乃馬は下ありあり

と云ありあり 柳井沢あり

磐石地蔵 熱海より二里余あり

往有山臺政子贊より海せありし
菽乃月より有は水頼の御殿水子
用ひありと云ふあり一里より平井村
十八町より大場村一里より浦より松
三島の宿の神を辰乃あいつり
東海及澤あり

三嶋明神

大山能大社

社領五百三十石

鳥丸光廣卿は驛小宿に居し
時法よりして帰るよりよけ三島に
社を祈ると細文ありといふ
いのちより水せ記とあり天乃川
より色を給れ社のありて
と前ありハ社威ありといふ

天枝晴身 日新急細ふありとあり

熱海の細代の陸地 二里

和田山を過 梅木沢 地路

一盞水 あきより世大川 南山とあり

大渡戸 小田原領 上多賀村 宗良川

長濱 山ありて細細とあり 中津村

小山村 たよありて山 福見十屋有

和田木村 是より右宇佐兵村へり 在
濱傳へ細代へり

熱海の細代の海上 二里

あし路へありてりる 同景趣あり

大概路りありてりる 山あり

熱海の和島の海上 三里

和島 東西八町 南北四町 あり武松五町

民家四拾軒

人数二百八十人余

初本大ゆ神

結玉

泊とふ文字をうつとよし傳はる物ね
はまゝ本をうつとよしつるふしとて
路を海よりぬき入神小やいとそ
きし沖乃小のるを記して与れ

上母並く續傳

青雲新水伝

はね〜つ〜波流れ起る〜
上まねの母毛海介小み〜ぬ
初め夕暉とよしとて

京極高門

のち見れえいさよ入浪乃とて

沖乃小水とみそて海あり

徳倉右大臣

とくぬ路を沖越く小島伊豆乃海也

沖乃小水と波のよるなり也

伊豆七島

大嶋 東西二里半 南北五里程

江戸分三崎迄十九里三崎分大嶋七十八里

都合三十七里

大嶋は稲取分七里大嶋は下田分十三里

利嶋 四方一里

大嶋分利嶋は七里程

新嶋 東西二十町程 南北三里程

利嶋分新嶋は三里程

神津嶋

東西一里程

南北一里半程

新島分神津嶋迄六里

三宅嶋

東西二里程

南北二里程

神津嶋分三宅嶋迄九里程

所産嶋

東西二十五所

南北一里程

三宅嶋分所産嶋迄八里程

八丈嶋

三宅嶋分八十四里程内二十所程早瀬

大槓郷分三根村迄一里

大槓分大槓立村迄一里三所

大槓立村分中々迄二十八所程

中郷分末吉村迄一里四所

末吉村分三根村迄二里十八所程

都合六里十七所

夏以負荷郡伴東是村

稻荷山東林寺

伴東入及甚抱而

法号東林院寂心入道

寺之有楠大木之

稻荷社有

伊東家分年々代未有之也

竹田村為清寺衣之方言好乃表小社二

社有言好乃文と云

善乃表是川揚而之有之

熱海山下回之陸道

熱海分一里

上多賀分三里

片板英分一里

伴東分一里八町

吉田分二里

八幡堂分一里

赤沢分一里半

大川分一里

赤長分一里

白田分一里

編江分二里半 見之方 半里

河津分二里 間は繩池村

白濱分一里余 下田

右熱海記行附録を回支跡老よ約
りとのめりまつてぬ竹の海との記
りくくまきくふの 且熱海名區
晴既乃ととを予々旅亭此つと
なくれりよとて今井右徑の記録
きるる書とんそふもつとのこ
く入り字つと竹とまきと

つる、と喜ぬ、しきとるぬ、人け
るり、おれとふせん、とみ、りり、と筆
を、引、く、梅、の、ひ、き、を、き、く、と、も
と、り

元文四年己未夏五月





